

平成 26 年 8 月豪雨災害からの復旧・復興について

目次

- 1 平成 26 年丹波地域における災害
- 2 丹波市市島町を中心に記録的豪雨をもたらした 8 月豪雨
- 3 8 月豪雨の被害状況(概要)
- 4 復興計画(概要)
- 5 復興に向けたこれからの取組み(竹田川流域における重点地区での取組み)
 - (1)前山地区
 - (2)竹田地区
 - (3)美和地区

出典:平成 26 年 8 月豪雨災害の復旧・復興計画の中間まとめ(兵庫県)

1 平成 26 年丹波地域における災害

丹波土木事務所管内では、平成 26 年 8 月～10 月にかけて台風や豪雨による災害が複数発生した。

NO	名前	月 日	最大日雨量 (mm/day)	最大時間雨量 (mm/hr)	観測所
1	H26. 8. 9～10 台風 11 号	8 月 9 日 ～8 月 10 日	166	48	篠山市火打岩
2	H26. 8. 16～17 豪雨	8 月 16 日 ～8 月 17 日	414	91	丹波市市島町 北岡本
3	H26. 10. 13 台風 19 号	10 月 13 日	141	20	丹波市青垣

2 丹波市市島町を中心に記録的豪雨をもたらした 8 月豪雨

(1) 降雨状況

8 月 15 日から 20 日にかけて前線が本州付近に停滞し、前線上を低気圧が東に進んだ。前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだ影響で、西日本と東日本の広い範囲で大気の状態が非常に不安定になった。このため、局地的に雷を伴った非常に激しい雨が降り、特に 16 日から 17 日にかけては近畿地方や北陸地方、東海地方を中心に大雨となり、局地的に猛烈な雨が降ったところもあった。

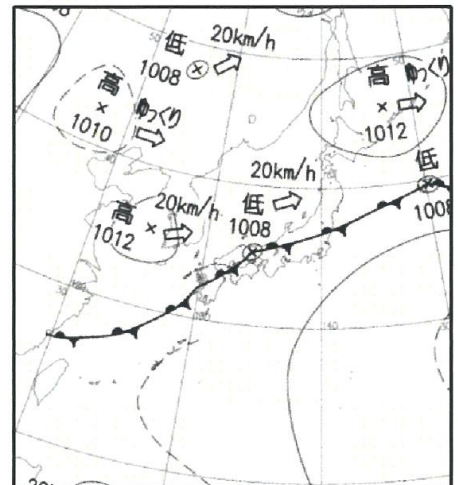
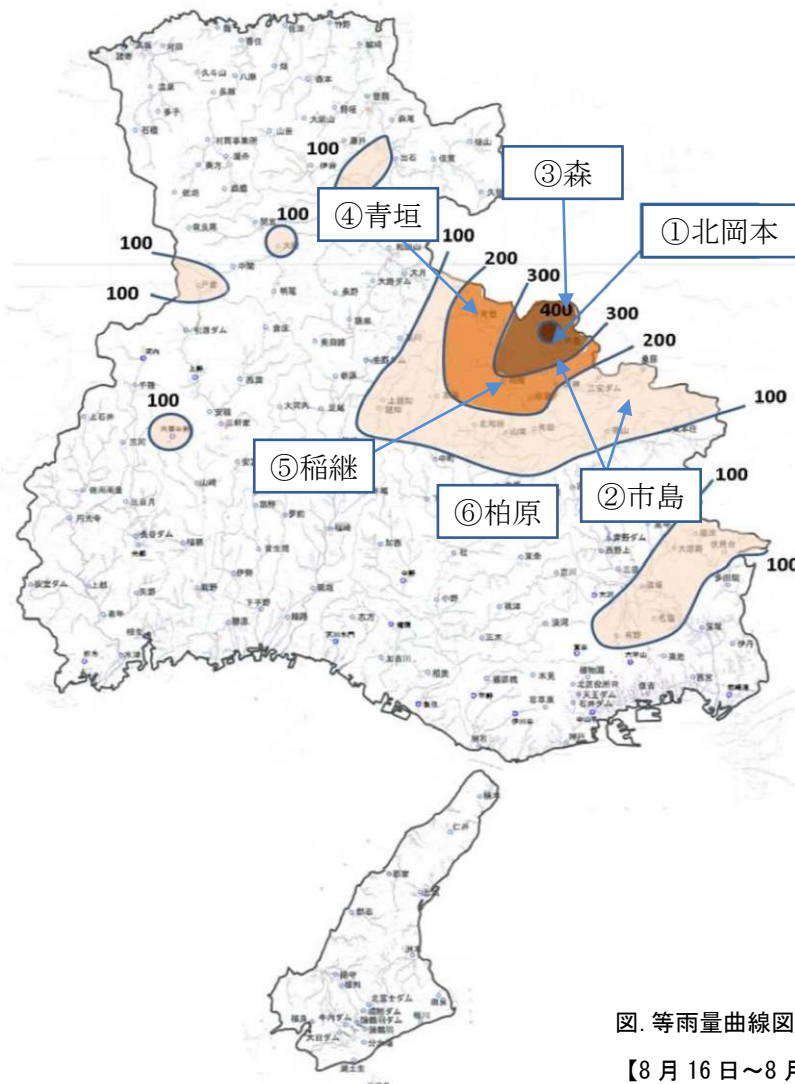


図. 天気図 (8 月 16 日 9 時)

(単位 : mm)

凡 例	
雨量	
100～200 mm	
200～300 mm	
300～400 mm	
400～ mm	

図. 等雨量曲線図

【8 月 16 日～8 月 17 日 24 時までの間の最大 24 時間雨量】

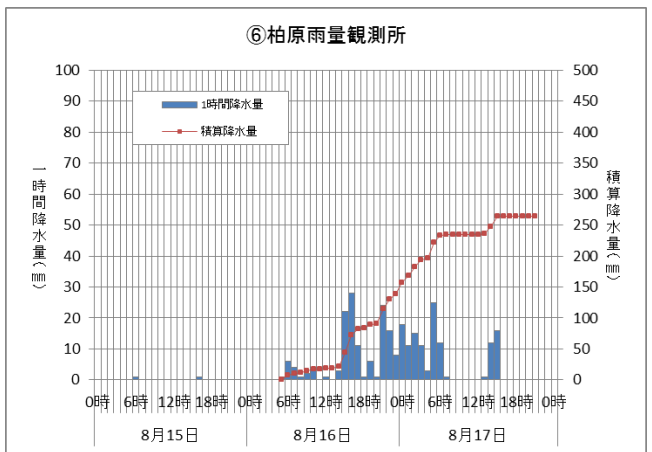
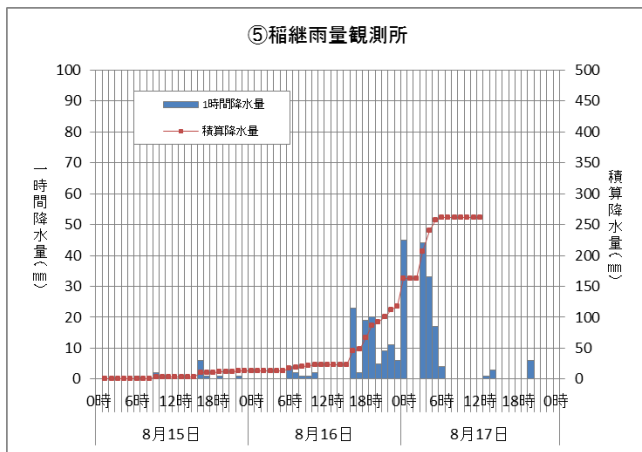
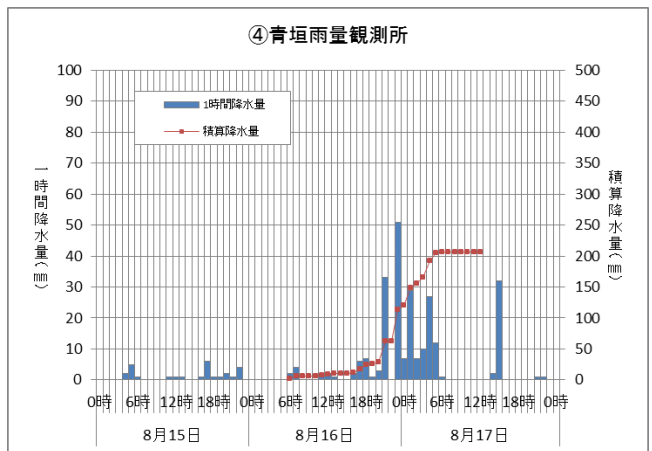
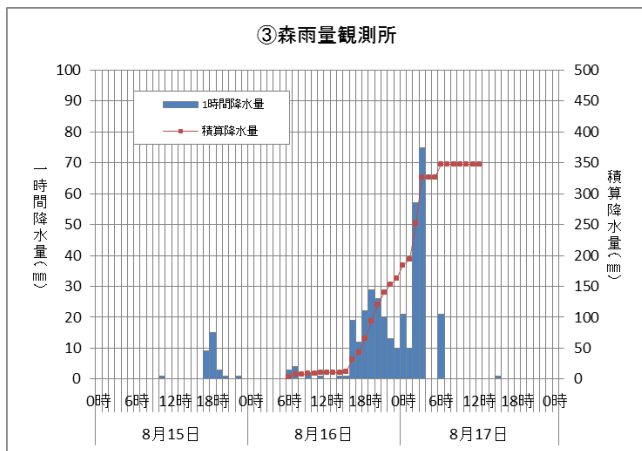
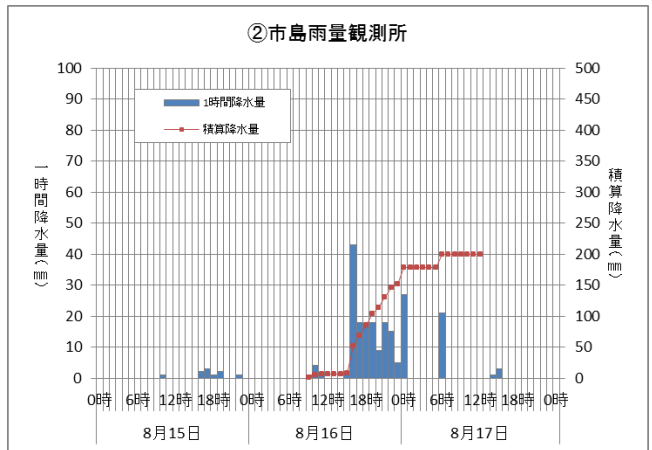
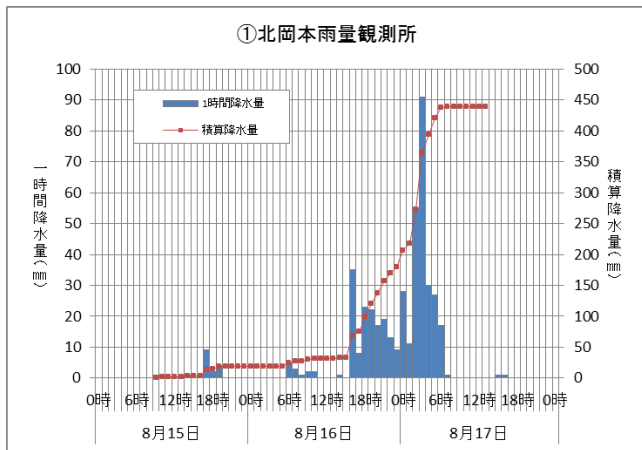
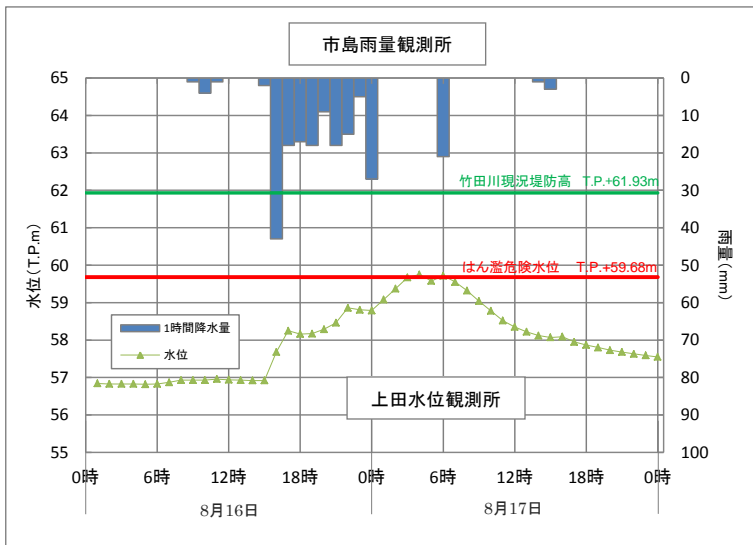


表. 主な地点の降雨量

(単位 : mm)

雨量	神戸	阪神南	阪神北		北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波		
	有野	名塩	伏見台	武田尾	加美	越知	戸倉	藪崎	北岡本	森	市島
(最大 1hr)	(74)	(86)	(65)	(90)	(29)	(35)	(27)	(26)	(91)	(75)	(43)
最大 24hr	136	145	152	150	143	135	104	117	414	392	339

(2) 河川の増水状況



上田水位観測所（竹田川：兵庫県丹波市市島町上田）の水位を見ると、8月16日16時頃より水位が上昇を始め、8月17日4時頃に最大水位 T.P.+59.75m を記録した。この水位は、これまでの既往最高水位である T.P.+59.38m（平成16年10月20日）を超えるものであった。

(3) 竹田川支川での被害状況

市の貝川(JR床横架部)
護岸損傷・浸食

徳尾川(鴨阪橋上流)
流木による河道閉塞

前山川(国道175号八日市橋)
落橋

美和川(与戸) 護岸損傷・浸食

3 8月豪雨の被害状況（概要）

8月豪雨災害では人や家、森林、河川、道路等への複合的な被害が発生した。

多くの土砂流出が発生し、山裾の住宅に被害を与えるとともに、土砂が河川を埋塞したことから、集落・農地に浸水が広がるなど連鎖的に被害が拡大した。

このため、土砂・流木の流出防止、災害に強い森づくり、河川改修等の計画的かつ効率的な推進に向け、県・市が連携し、復旧・復興計画の中間とりまとめを行った。

特に、大きな被害を受けた4地区（前山地区、竹田地区、美和地区、幸世地区）については、重点地区に位置づけ、土砂災害等に総合的に取り組む。

〔丹波市における被害の概要〕

（1）人的被害

死者：1名 負傷者：4名

（2）住家被害

全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊	床上浸水	床下浸水	計
18	9	41	1	165	780	1,014

※住家被害；現に居住のために使用している建物

（3）公共土木・農林施設関係の被害状況

① 公共土木施設

区分		被害額	箇所数	主な被害
県	道路	5億円	12	落橋、法面崩壊等
	河川	20億円	49	護岸崩壊等
	砂防	6億円	29	護岸崩壊等
	計	31億円	90	
市	道路	7億円	17	橋台洗掘、法面崩壊等
	河川	8億円	29	護岸崩壊等
	計	15億円	46	

※数値については精査中であり、今後、変動する可能性がある

※公共災のみ計上

② 農林施設

区分	被害額	箇所数	主な被害
農地	7.5億円	1,610	畦畔崩壊、土砂埋没等
農業用施設	11.5億円	805	用排水路破損、ため池決壊等
林道	1億円	7	路体流出、法面崩壊ほか
計	20億円	2,422	

※農林被害には、作物等の被害は含まない

※農地は筆数、林道被災箇所は路線数

（4）その他

104箇所の山地土砂災害が発生。

河川も含めた流出土砂量は50万 m^3 ；10tダンプ約10万杯に相当。

被災概要図



【凡例】

- : 河川(被災箇所等)
- : 砂防
- : 治山
- : 迂回路

1km

4 復興計画（概要）

（1）今回災害の特徴と重点対策

【今回災害の特徴】

- ・山腹の崩壊により大量の土砂・流木が流出し、山裾の住宅が被災
- ・土砂・流木が堆積し、河川を埋塞したため、溢水により下流部の家屋や農地等が広範囲にわたり被災
- ・河川の流下能力不足等により河岸が浸食され、周辺農地等も大きく被災

【重点対策】

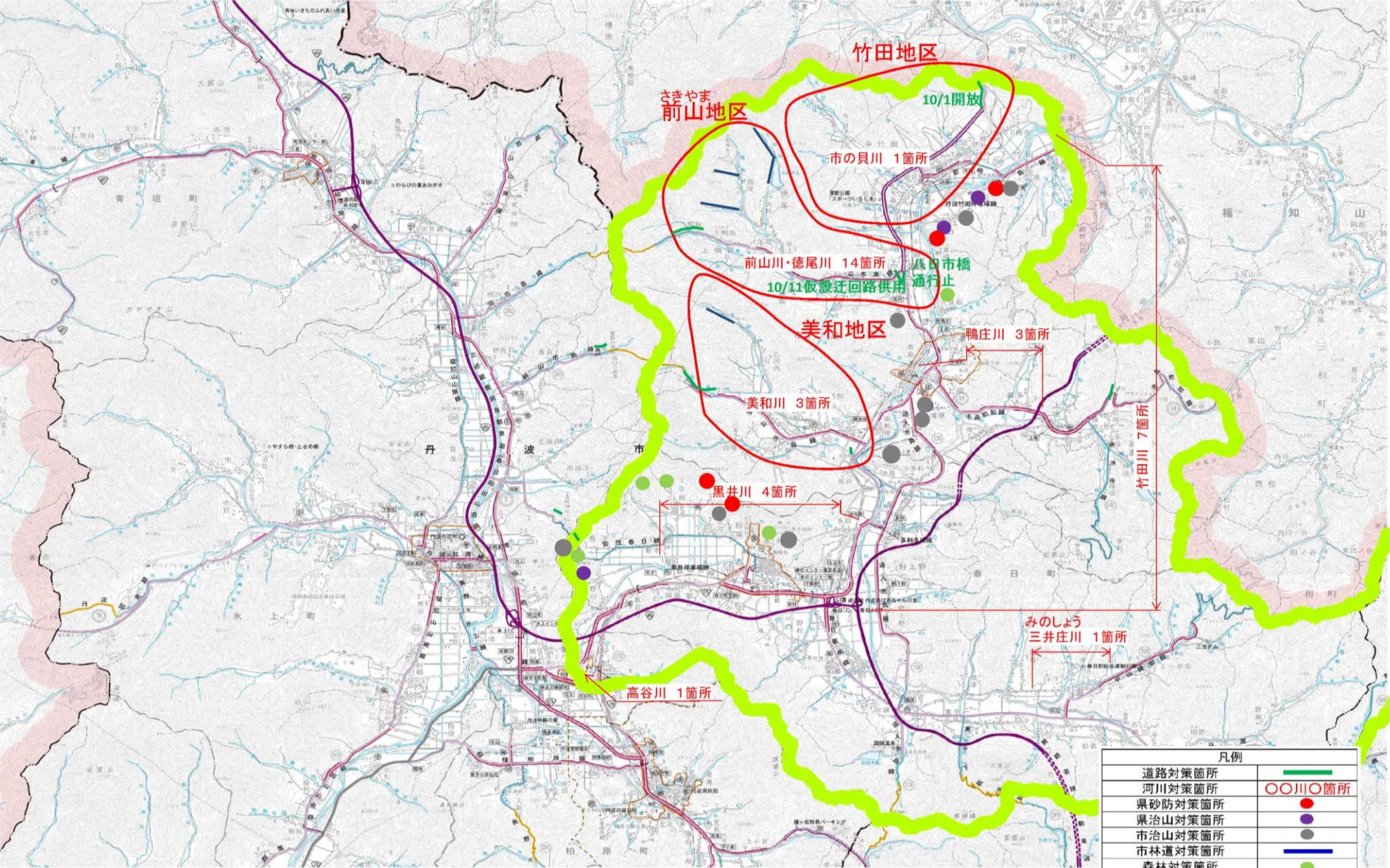
- ・土砂・流木の流出防止
（治山ダム、砂防えん堤等の重点整備）
- ・早期の警戒避難体制の整備支援
（土砂災害警戒区域の総点検を実施）
- ・災害に強い森づくり等
（危険木（倒木・流木）を伐採、搬出）
- ・浸水被害の軽減
（河川改修、堤防補強対策）
- ・農地の速やかな復旧・復興
（埋塞土砂の活用等）
- ・住宅の復旧・復興
（山裾の新たな住まい方の検討等）



（2）復旧復興の全体概要

道 路	<ul style="list-style-type: none"> ・施設被災 29 箇所（県 12 箇所、市 17 箇所）は原形復旧を 27 年度までに完了。 ・落橋した国道 175 号八日市橋は、交通への影響が大きいため、27 年夏頃に架け替えを完了。 																																															
河 川	<ul style="list-style-type: none"> ・施設被災 78 箇所（県 49 箇所、市 29 箇所）については、原形復旧（県 40 箇所、市 26 箇所）を 27 年度までに完了、改良復旧（県 9 箇所、市 3 箇所）を以下の 6 河川において 28 年度までに完了。 <ul style="list-style-type: none"> 〔（一）前山川・（一）徳尾川：3.8 km（県事業）、（一）市の貝川：1.4 km（県事業）〕 〔（一）美和川：1.3 km（県事業）、（普）山田川・（普）曼田良川：1.5 km（市事業）〕 																																															
治 山 砂 防 等	<ul style="list-style-type: none"> ・治山ダム・砂防えん堤の堆積土砂・流木の撤去（11 箇所）を今年度中に完了。 ・砂防流路工等の被災 29 箇所は原形復旧を 27 年度までに完了。 ・治山ダム等（68 箇所）、砂防えん堤等（36 箇所）の整備を 28 年度までに完了。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">内 訳</th> <th rowspan="3">合計</th> <th colspan="4">治山</th> <th colspan="2">砂防</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">県</th> <th colspan="2">市</th> <th rowspan="2">県</th> <th rowspan="2">市 （県補助）</th> </tr> <tr> <th>県補助</th> <th>市単独</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>氷上</td> <td>22</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>春日</td> <td>7</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>—</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市島</td> <td>75</td> <td>33</td> <td>16</td> <td>4</td> <td>12</td> <td>22</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>104</td> <td>40</td> <td>28</td> <td>6</td> <td>22</td> <td>31</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・市内全箇所の土砂災害警戒区域（Y 区域）の総点検を今年度中に実施。 	内 訳	合計	治山				砂防		県	市		県	市 （県補助）	県補助	市単独	氷上	22	6	8	2	6	7	1	春日	7	1	4	—	4	2	—	市島	75	33	16	4	12	22	4	計	104	40	28	6	22	31	5
内 訳	合計			治山				砂防																																								
				県	市		県	市 （県補助）																																								
		県補助	市単独																																													
氷上	22	6	8	2	6	7	1																																									
春日	7	1	4	—	4	2	—																																									
市島	75	33	16	4	12	22	4																																									
計	104	40	28	6	22	31	5																																									
農 地 農業用施設	<ul style="list-style-type: none"> ・被災した農地（99 箇所）、農業用施設（52 箇所）は、原形復旧等を 28 年度までに完了。※箇所数については、査定終了後に確定。 																																															
森 林	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急防災林整備（災害に強い森づくり）5 箇所、危険木搬出・集積促進事業 15 箇所の危険木の伐採、搬出を今年度中に完了。 																																															
林 道	<ul style="list-style-type: none"> ・施設被災 7 路線を 28 年度までに完了。 																																															
住 宅	<ul style="list-style-type: none"> ・県・市が被災住宅の早期再建に向けた利子補給等の支援。 ・市の復興プラン策定委員会において、山裾に余裕域を設けるなどの新たな住まい方の検討。 																																															
土 砂 処 分	<ul style="list-style-type: none"> ・流出土砂量は 50 万 m³。公共残土処分地で 22 万 m³を確保。 ・市が、残る 28 万 m³の処分地を年度末までに検討。 																																															

竹田川流域の対策箇所



凡例	
道路対策箇所	—
河川対策箇所	○川○箇所
県砂防対策箇所	●
県治山対策箇所	●
市治山対策箇所	●
市林道対策箇所	—
森林対策箇所	●
竹田川流域界	—